



父・宇津 克美さん 息子・宇津 康之さん

「ほどらい」の塩加減で  
味と風味に調和があるのがええ。

# 【ほどらい】

「千枚漬は塩加減が命。あんばいよう、やったか？」

「はい、いつもの通りに」

「いつも通りではあかん。」

「今日の天気や湿度、つくり手の気分も大切や」

「僕の気分もですか？」

「イライラしたら、味は辛うなる。」

「穏やかな心を保たんとまったりええ味は出えへん」

「天気や温度、湿度だけでなく、

気持ちまでが味を左右するのですね」

「お天道さんと自分の心

そして何より食べはるお客さんのことを考えながら

塩と昆布の加減、漬け時間を考える。

調和を保つのが「ほどらい」や」

「漬物作りは人柄まで問われているようですね」

「心の機微まで

自分で加減できるようになったら

おまえも、ほどらいの者になったということや」

「ほどらい」は「程合い」の転訛した言葉で、適当、適量という意味にも使われる。量だけでなく質的な意味も含め、物事を総合的に判断し、最もふさわしい対処をすることで、臨機応変の判断力が問われる。調和を重んじる京都では味だけではなく、人間関係や商売でも「ほどらい」をわきまえることを尊ぶ。

おもいことばに託して  
**京ことば**

「ON YOUR SIDE ～一緒にうれしい～」京都中央信用金庫は地域の歴史や文化をささえる活動を応援します。

 **京都中央信用金庫**

京都市下京区四条通烏丸西入ル TEL.075-223-2525 FAX.0120-201-580 (フリーダイヤル) [www.chushin.co.jp](http://www.chushin.co.jp)

